

出雲市内資金循環ワーキンググループ 実証事業 結果報告

3 考察

出雲がより魅力的になるためには、どうしたら良いか。地域に持って来たお金をできるだけ外に逃さず、地域の中に留まらせ、グループと循環させることによって、豊かな地域経済につながるのではないかと。魅力的な街には、多様な価値観のいろいろなお店があり、お店では人と人との出会いや会話が生まれ楽しくお買い物することで、お気に入りのお店が増えていく。そんな循環を目指して事業を実施した。

- 還元予算である総額110万円に対し、40万円程度の還元が実施された。また40万円程度の投下予算に対し総決済額約650万円程度の決済利用を創出。
- 対象加盟店61店舗中、事業開始前は16店舗ほどの決済実績であったものの、事業開始後は51店舗まで決済実績が増加。
- 相応の成果があったと言える一方、出雲市総J-Coinユーザー約5,000名に対し、本事業における決済利用者数は253名程度に留まる。
- 事前の広報活動の対応施策、またJ-Coinそのものの認知度向上（ダウンロードはしているも不活性ユーザーが多い可能性）については課題であると考えます。
- 今回の事業については、対象加盟店を地元資本の店舗へ限定。利用者サイドから見た際の大手コンビニエンスストアやドラッグストアなど、一般的にQRコード決済が日常的に利用される可能性が高い業種を対象としていない側面あり（但し、地元資本企業への資金還流、地域内資金循環が本事業における取り組み意義であったことから、一概に大手チェーン店舗等を含めた方が良いということではない）。
- 本事業を一過性で終わらせることなく、継続的に地域内資金循環やデジタル決済（例：デジタル地域通貨）について検討が必要と思われる。

4 参加店の声

ポジティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 1か月ではなく長期的な取り組みを望んでおられました。PayPayみたいに皆が使いやすくなると喜ばれると思います。 ● キャンペーン用のポスター、チラシ、ステッカーなどを店頭に掲示・配布を行いました。期間中のご利用がなく、成果の項目で「どちらともいえない」とさせていただきます。出雲で資金を循環させるという考えには大いに賛同し、なるべく物品等購入を心がけました。 ● 趣旨は良かった。還元ポイントの利用先が参加店という点も良い。J-Coin Pay のダウンロードが伸びなかった。参加店が増えると広がりが出るのでは。
中立	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地元のお店」かどうか、わかりにくい場合がある ● 残念ながらJ-Coin自体の認知度不足。J-Coinのシェア不足が大きかった。 ● 事業期間が1か月では短かった様に思う。他のキャンペーンと重ならない時期が良かったのではないのでしょうか。 ● 地元の小売店の情報が、うまく地元のお客様に知って頂く機会（講演会、イベント、関連事業とのコラボ企画などで）。販路拡大する必要性を感じました。 ● 店が少ない。J-Coinはメジャーではない。（登録者が少ない） ● 同じキャッシュレスでも「J-Coin」というのがハードルが高いという声が多かったです。「なかなか良い良い取り組みをされていますね！」という声もいただきました。（利用はされませんでした）資金循環の実証事業であるということをお客様に伝えて理解していただくのが難しかったです。
ネガティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 面倒。メリットが少ない。

1 キャンペーン概要

「J-Coin Pay」という電子マネーのアプリを活用し、地元の参加店でお買い物をしていただくと、独自ボーナスポイントを利用者に還元し、参加店のみで使用できる実証実験を行った。実験後、参加ユーザー属性に応じたお買い物動向などのデータを取りまとめた。また、キャンペーンを通じて、利用者や参加店に対して、地元消費についてのアンケートも実施した。参加店については、キャンペーン期間中の備品の調達や仕入れを地元企業や店舗で意識して行ってもらい、調達具合を記録として残していただいた。

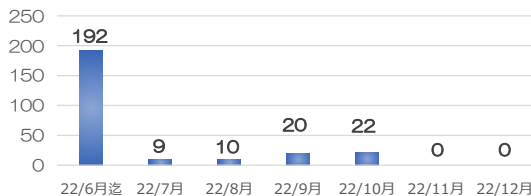
お買い物期間	2022年10月1日(土)~10月31日(月)
利用対象者	キャンペーン期間中に、出雲市内の対象店舗にて、J-Coinでお買い物をいただいた方
対象店舗	61店舗
ポイント付与方法	キャンペーン期間中に、対象店舗でJ-Coinをご利用のお客様にお買い物金額の10%を「出雲応援ポイント」として、お買い物から30日後に付与。なお、還元総額上限の100万円になり次第、キャンペーンは終了。
ポイント有効期間	付与日の翌月末まで有効 例1)10月1日にお買い物→30日後の10月31日に付与→翌月末の11月末が有効期限 例2)10月2日にお買い物→30日後の11月1日に付与→翌月末の12月末が有効期限
利用者アンケート	キャンペーン期間中に対象店舗でお買い物をして、且つ、アンケートに回答いただいた方の中から、抽選で100名様に1,000ポイントを付与。
広報/告知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト ・SNS(Facebook/Instagram) ・折込チラシ(山陰中央新報) ・出雲ケーブルビジョン ・対象店舗におけるポスター/チラシ/のぼり旗

2 利用者分析

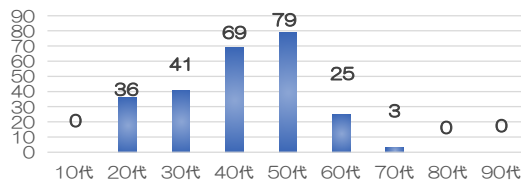
全体利用者数	人数	男女比	人数	(比率)
Pay	252	男性	88	34.8%
Lite	1	女性	165	65.2%
計	253	計	253	100.0%

市内外比	人数	(比率)	人数	人数		
市内	198	78.3%	松江市	28	安来高田市	1
市外	55	21.7%	大田市	9	江津市	1
計	253	100.0%	雲南市	6	浜田市	1
			益田市	2	飯石郡	1
			邑智郡	2	米子市	1
			安来市	1	県外(*)	2

全体利用者J-Coin登録者数推移



全体年代別利用者数



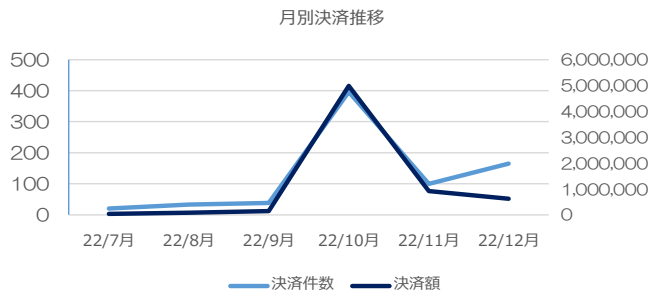
考察

- 利用者総数は253名。うち22/7月以降のJ-Coin新規登録利用者数は61名。SNS等活用の上事前告知実施したものの、やや新規利用者の増加は限定的か。
- 利用者の大層は市内住民。松江市など近隣市町村の住民も一定程度利用。
- 年代別利用者数は、40~50代で6割強、次いで20~30代で2割強。スマホネイティブ層での利用が顕著であったと言える。

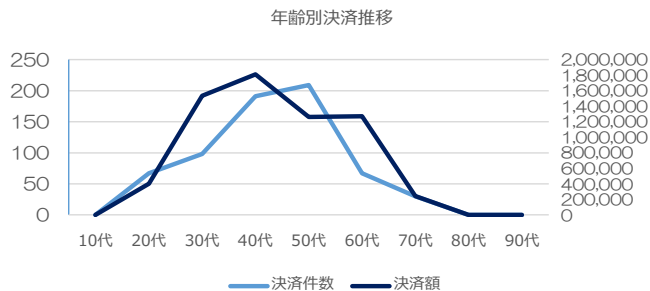
5 決済利用分析

決済総数	総決済件数	総決済額(A+B)	A.J-Coin残高利用	B.J-Coinボーナス利用	C.未消化分	還元総額(B+C)
22/10~12月	661	6,520,895	6,131,545	389,350	94,741	484,091

月別	店舗数	決済件数	決済額	曜日別	日数	決済件数	決済額
22/7月	48	20	32,680	土日	30	290	2,925,741
22/8月	59	33	81,197	平日	62	371	3,595,154
22/9月	61	38	144,045	計	92	661	6,520,895
22/10月	61	396	4,980,632	曜日別	日数	件/日	額/日
22/11月	61	100	917,290	土日	30	10	97,525
22/12月	61	165	622,973	平日	62	6	57,986



年代別	人数	決済件数	(比率)	決済額	(比率)	うちボーナス利用額	(比率)
10代	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	36	67	10.1%	401,586	6.2%	14,806	3.8%
30代	41	98	14.8%	1,533,767	23.5%	70,177	18.0%
40代	69	191	28.9%	1,809,689	27.8%	142,482	36.6%
50代	79	209	31.6%	1,261,597	19.3%	92,081	23.6%
60代	25	67	10.1%	1,271,010	19.5%	57,094	14.7%
70代	3	29	4.5%	243,246	3.7%	12,710	3.3%
80代	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
90代	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	253	661	100.0%	6,520,895	100.0%	389,350	100.0%



考察

- ▶ 事業期間中（22/10～12月）の総決済件数は661件、総決済額は約650万円。
- ▶ 還元予算総額110万円に対し40万円程度ボーナス利用。投下予算40万円に対し、約16倍の決済が発生。
- ▶ 決済単価は、30代15,651円、60代18,970円（その他年代は6,000～9,000円程度）と一部年代によってバラ付きのある結果。

6 利用者アンケート（「キャンペーンについてのご意見」からの抜粋）

年代	性別	職業	ご意見
10代	女性	会社役員	とてもよいキャンペーンだと思います。地域を盛り上げるのは地元からだと思います。活気ある出雲になれば若者達も出雲にとどまると思います。
20代	男性	学生	街でお買い物するきっかけになりました！期間が長めでも開催していただきたいです！
30代	女性	パート・アルバイト	ぜひ還元率を上げて、今後も続けてほしい。
30代	女性	公務員	今後J-Coinが使える加盟店が増えると便利になると思います。個人的にはよくタクシーを使うので、タクシーでも使えるようになると嬉しいです。
30代	男性	公務員	実証実験ということなので仕方ありませんが、利用可能店舗が少ないように思いました。
40代	女性	パート・アルバイト	私の周りにはこのキャンペーンの事を知っている人がいませんでした。今回私が知ることが出来たポスターも普段あまり行くことのないお店にたまたま行って見かけJ-Coin Payを知りました。J-CoinPayを調べてみると仕送りをしてる私にぴったりと思い登録し、今回のキャンペーンに参加することが出来ました。私のように仕送りをしてる、する可能性のある世代に積極的に働きかけると良いのではないのでしょうか。生活が変わるタイミングでこのようなキャンペーンがあればもっと積極的に地元のお店を使うと思います。今回知らなかったお店が多く、知るきっかけにはなりましたが、何を扱っているお店なのか分からず調べるのも手間に感じました。併記してあると良かったかなと思います。今後の地域経済の発展とキャンペーンに期待しています。
40代	女性	会社員	地産地消で地元を活性化させる事、普段は安さなど重視して、あまり意識していなかったのですが、今回のキャンペーンで改めて大切さを感じました。これからはもう少し意識しながら、地元で優しい買い物をしていきたいです。
40代	女性	会社役員	もう少し、登録しやすいと年配の方も使いやすいと思います。高齢の方が多地域ですので・・・。使いやすさは便利な機能だと思います。どこで使えるかというのが、もう少し明確に分かると良かったです。地域の活性化につながるのいいと思います。実証事業のようですから店舗数が少ないことは理解しますが、地元の店舗自体が思った以上に少ないのではないかと心配をします。地元のお店がどこなのかかわかると、もっと意識して買い物をしたいと思います。
40代	男性	公務員	価格を安くしてほしい。
50代	女性	会社員	たまたま買い物をした店でキャンペーンの事を知ったが、キャンペーン終了間近だったので、もっと早く知る機会があれば良かったと後悔した。
50代	女性	会社員	チラシを見て、安来から買い物に来ました。いろんな地域でこのようなキャンペーンがあるといいなと思います。
50代	女性	会社員	もっと地元でイベントがあればいいと思う。大きなイベントじゃなくても、ちょっとしたイベントで行きやすい所で。
50代	女性	会社員	値段の安さだけではなく、地元の商店や地元の食材を置いているスーパーなどで買い物をすることが、自分達の住む地域を守ることだと思っています。このような活動はとても大切だと思います。是非続けていただけたらと思います。
50代	女性	会社員	地元が潤い、お金が循環する仕組みは素晴らしい
50代	女性	会社員	地元を応援、素晴らしいです！私も意識して買い物したいと思います！
50代	女性	自営業・自由業	地域のお店、大切です。活性化した出雲、元気な出雲であれば、若い人も住みやすく、都会からも帰ってきてくれると思います
50代	男性	会社役員	PayPayに負けない様に色々とキャンペーンをお願いします！
50代	男性	公務員	単なるポイント付与だけでなく、地元のお店で買い物することで、地域を良くすることに貢献できる仕組みを考えて、キャンペーンをぜひ継続してほしい。
50代	男性	公務員	買い物は地元でという意識が高まると思うので、継続的に実施して欲しい。
60代	女性	パート・アルバイト	キャンペーンのみならず、商品開発などにも力を入れて頂くと、購買力アップに繋がると思います。
60代	女性	会社員	10%還元に一人あたりの上限をやってほしくないです
60代	女性	会社員	地元の美味しい食材を使って料理が出来たら嬉しいです
60代	女性	専業主婦・主婦	たまたまネット見て目に止まった。改めて地元での買い物の必要性を意識した。大事な事とは思いますが商品や価格のことを考えたら足踏みする事もある。
60代	男性	会社員	J-Coinに留まらず！あらゆる次世代のオンライン決済のアイテムに??恩恵を受けれる政策を?満足で実現して欲しいね?
60代	男性	無職	生年月日の登録に戸惑った。(普通のやり方でない)現在から65年前までどうやって戻るのでですか?780回タップしました。インターネットでの買い物回数の問いはおかしい → 1ヶ月に1回とか、数ヶ月に1回とかの選択肢があるべき！

最後に

出雲市内資金循環促進ワーキンググループとは、出雲商工会議所 商業部会の有志メンバー7名が出雲市の出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議の事業に採択されたことにより、「地域内資金循環」をテーマに3年前から活動をしてきたものです。「地域内資金循環」とは、地域のお金の流れを「生産・分配・支出(消費や投資)」の三つの視点で見える化することによって、地域経済の全体像と地域のお金の流出入を把握し、地域経済の「稼ぐ力」の強化、地域からの「お金の流出」を止めることにより、地域内でのお金の循環構造を作り出し地域経済の活性化に向けた取り組みを行うことです。3年間の活動のまとめとして、出雲市内での資金循環の促進を目指しキャッシュレス決済の「J-Coin Pay」を使ったお買い物キャンペーンを実施しました。この事業実施にあたっては、出雲市の補助金と商工会議所からの助成をいただいて実施しました。お世話になりました。